



コロナ感染爆発にあたり共産党掛川市委員会は 23日に市長に「緊急申し入れ」を行いました

ワクチン接種の説明は当局からありましたが、変更された緊急事態に對しての対応方針は議題となつていませんでした。「関係部局がしっかりと対応しているからお任せする。見守る。」というのが議長はじめ議会の姿勢のようです。

皆さんからは
「自宅療養者は何人いてどんなふうな医療機関とつながっているの。いざというとき大丈夫なの？ 病院に入れるの？」
「何かしら不安があつてPCR検査が受けたいときに本当につなげてもらえるの？」
「妊婦や子どもたちのワクチン接種は？ 接種前に学校を再開してクラスターが起きたら家庭内感染も起こって瞬間に感染爆発になるんじゃないの？」
「緊急事態宣言の休業・自粛の補償がよくわからない。申請の手伝いはどこがやってくれるの？」
市の単独補助はないの？」
など様々な声が…



市の感染症対策本部会議が開かれていますが、方針や対策がどんな話し合いを経て出て来たかを示されないと説得力に欠けます。

市長はパラリンピックの採火式や選手応援の話題を取り上げ、茶エンナーレの今年度開催を説明。緊急時のアピールはこれでいいのか疑問です。

パラリンピックが始まれば、オリンピック同様にテレビも新聞もメダル報道が増えると思われま

す。危機管理が二の次になることが私は心配です。

「緊急申し入れ」要旨

- ① 茶エンナーレの中止、パラリンピック中止の申し入れを
- ② PCR検査、抗原検査を希望者に迅速に受けられる体制づくりを
- ③ 宿泊療養施設の増設
- ④ 自宅療養者への支援
- ⑤ ワクチン接種枠の拡大
- ⑥ 教育・保育現場への対応協議を
- ⑦ 事業者への支援
- ⑧ 保健所体制の強化

※申し入れ内容の全文は私のHPで公開中



補聴器の公的補助を

「補聴器の公的補助を求める掛川の会」から請願が議会に提出されました。



議長に署名を

会は勉強会を開いて、制度を作った他の市(磐田市・焼津市)の取り組みに学んだり、医師や補聴器業者などから専門的な話を伺ったりした上で、署名に取り組み今回提出しました。(署名数市内1879筆+市外42筆)

紹介議員を大井議員と引き受けました。しっかり審査の上議会で採択をお願いしたいです。

国の保険適用も含め高齢者の補聴器購入に助成制度を



サマーポインセチアの赤い花に元気をもらって

9月定例会が9/1から開会されます。(10/1まで)

・40才未満の方は9月中旬以降予約開始予定。

・エコー接種の予約枠が10/2まで広がりました。

(3) ワクチン接種

・幼:30人、保:90人

・おおぶちそよ風こども園(こども園化) 120人定員

・千羽すぴか保育園

(2) 保育施設整備

0~5才 120人定員

8月全員協議会
報告(8/20開催)

(1) かけがわ茶エンナーレ

ウエブ配信のほか市内各地で開催予定

10/16~11/14